令和6年度 シラバス

学年		教	科		科	目	単位数	担当	当教員	展開	- 月	使用教	科書	国語	表現			
3	国 語		国語表現		2	2 村 田 有 紀		必修・選択		副教材名		国語表現 基础		基礎練習	ソート			
	科	目の目	標	①進路活動を意識した実用的なスキルと、生涯にわたって言語生活を豊かにする態度を身につける。 ②「とままえ学」や「総合的な探究の時間」と連携し、分析・総合する力を身につける。														
学	学習の	内容と	進め方	①履.	歴書や	小論文作成等る	を意識し	た「書く	(作業」、	面接等を意	意識した	「話す・	聞く作	業」を			3 .	
							売実習会」や「体験発表会」における具体的な作業を意識した内容を盛り込む。 を図るための様々な方法を意識するとともに、スキル向上のための知恵を得る。											
=π /π .	知	〕識・技	能	国語の特質を理解し、適切に使っている。														
評価(断・表現 なり組む態度		各領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高めている。 「学習の留意点」に沿って、積極的に作業に参加し、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使って伝える姿勢で取り組んでいる。													
		/rn=±ts ++ Δ+.			Bを上	- 回る状況を達	成してし	いる。						4 (24)		,		
	知	知識・技能			B 場面に応じた適切な表現や言葉遣いについて理解し、適切な表現で伝えている。 C Bの状況に達成していない段階である。													
評価	6 E	思考・判断・表現				三回る状況を達			いを伝えている。「	書くこと」において、	場面や相手に広	じた分かりやすいる	意で表現して	いる。「跡	おことには	おいて、文章の意図	まる できません できる できる できる できる できる こうしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	
規準					Вの∜	けに達成して	いない段	と階であ		= (- C] 1000 · C (- 10 M (10) (C/O	0,2,3,2,7,7,0,2			0.00	30°CC X40000	ECH MICHOLINA D CO. 00	
	主	主体的に取り組む態度			A │Bを上回る状況を達成している。 B │伝えようという意図を持って自分の思いをまとめようとし、適切な表現を選択しようとしている。													
		予			Bの∜	紀に達成して	いない段	ない段階である。						-				
学 期	月	· 定 時		単 元				具体的な学習内容					評価の観点 知 思 主			評価方法等		
741		数 20	3 小論文	・レフ	ポートス	八門	 - [1	作文」と	:「小論文	」の違いを	理解する	7.1.	100	<u> </u>				
	4	0						・文章の構成を工夫する。 ・自分の意見を持ち、それについての反証を想定する。 ・統計やデータを適切に処理する。						0	細塚	・作業		
_		0													既余	· IF未		
		0								読み取る力を 践的な小論文								
	5	0						.,,,	- 1 1 2.	SOLD OF THE PARTY								
学		0																
		0																
#0	6	0																
期		0	_ 4 自己PRと面接					・自分自身を客観的な文章にする。 ・自己 P R のポイントを整理する。					0	0	観察	・作業		
	7	2	表現を楽し	む						つる「物語」		5. O	0	0	観察	・作業		
小	計	26																
	8	2 8	4 自己P	R Ł ī	面接		・進路	希望先と自	目分自身との	マッチポイン	トを整理す	る。						
	9	0					_	・志望理由、志望動機を作成する。 ・履歴書、自己推薦書を作成する。							4 8 557	<i>II</i> − ₩		
=		0								形式を理解する。		0		0	既杂	・作業		
		2	5 メディ	取使する	3		・クラス内で、グルーブごとの面接、もしくはリモート面接を実施する。 ・メディアと情報についてより深い理解を得る。											
	10	12	6会話・議				・ス	・スピーチの工夫を考える。 ・効果的なプレゼンテーションのための工夫を考える。						* 0 *	11_3114			
学		0								i ンのためのユ することを分別した		•	0	0	観祭	・作業		
		0					・発表	それの	質問を想定	し、その回	答を考え	る。						
	11	0																
期		0																
	12	6	表現を楽しむ					・卒業制作 原稿用紙20枚以上の小説・エッセイを書く							年日 友マ	. <i>II</i> − 2¥		
		0					原1	向用紙20	が以上の	小説・エッ	72121	≸< O	0	0	既杂	・作業		
小	計	30																
Ξ	1	0																
_		0																
学	2	0																
		0																
期	3	0																
,I·		0																
	小計 合計																	